これからの県立高等学校のあり方にかかる検討の進め方について

1 これまでの経緯

- (1)人口減少、少子高齢化やグローバル化、情報化、技術革新の進展等、急速に社会情勢が変化する中で、概ね 10 年から 15 年先を見据えて、新しい時代を切り拓く人づくりのため、県立高校の在り方の基本的な考えを示した「これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針」を令和 4 年 3 月に策定。
- (2) 基本方針においては、県立高校で育成すべき生徒像を「生きる力(自立する力、伝える力、協働する力、創造する力等)がある」とするとともに、滋賀の県立高校づくりのコンセプトを、「多様な生徒一人ひとりが、『滋賀』という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進める」としている。
- (3)基本方針に基づき、全県的視野から各県立高校の魅力化の方向性を示す<u>「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」を令和5年3月に策定</u>し、各県立高校の「スクール・ミッション」、「スクール・ポリシー」を踏まえて、「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」に基づいた「地域連携」「高大連携」「多様な学び」などの魅力化の取組を推進。
- (4) <u>令和7年4月、伊香高校・森の探究科、守山北高校・みらい共創科を開設。</u> また、令和8年度県立高等学校入学者選抜から新入試制度を導入するとともに、伊香 高校・森の探究科、虎姫高校・国際バカロレア枠で全国募集を開始。

2 改めてあり方検討を行う必要性

- (1)児童・生徒数の減少が見込まれるなかでの<u>学校活力を維持するための学校規模の確保</u> のための方策検討の必要性が高まっている。
- (2) <u>高校授業料無償化の拡大</u>による県立高校への志望動向に与える影響を注視する必要がある。
- (3) <u>今後とも、進学先として県立高校が選ばれるようになるため</u>には、生徒にとって、<u>通学のしやすい範囲の中に、多様な学校の選択肢があることが重要</u>であり、伊香高校・森の探究科、守山北高校・みらい共創科に続く、<u>生徒の興味・関心に応じた学びを提供する高校づくり</u>、生徒が生きる力を身に付け自らに合った学びができる魅力ある高校づくりをさらに進めていくことが求められている。
- (4) 高校教育では、「答えを見つける」教育から「課題を見つけて解決に向けて考え行動する」教育の場となることが求められており、そのためにも、<u>地域や大学との連携・協働</u>や、地域資源を生かした学びの展開をさらに進めていくことが求められている。
- (5) 不登校経験者や朝起きづらい生徒、日本語を母語としない生徒など、教育的支援を必要とする生徒が増加傾向にあることを踏まえて、生徒の個々の状況に応じた学びの機会の確保、多様な教育ニーズへの対応を進めていくことが求められている。
- (6) 学校施設の老朽化が進む中、県立高等学校の将来を見据えた施設の更新・改修を進めていく必要がある。

3 検討を進めていくにあたっての基本的な考え方

- (1)児童・生徒数の減少が見込まれる、これからの時代における本県高等学校教育の振興に向け、滋賀の子どもたちの視点を出発点に置いて、子どもたちの意見を反映しながら検討を進めていく。
- (2)本県の高等学校教育を新たな学びへと変革するための機会として捉え、滋賀の子どもたちの、<u>高等学校教育段階での教育の質の向上、教育環境の整備・充実</u>、という観点をもちながら、県立高校の配置のあり方も含めて、議論・検討を進めていく。
- (3)滋賀の子どもたちにとって、通学のしやすい範囲の中に、興味・関心に応じた学びを提供する学校の選択肢(進路選択の機会)を確保する、という観点での議論・検討を進めていく。
- (4)現在の高校の学びの状況や、生徒の意見、全国事例などをもとに県民等との対話を重ね、 「目指す高校教育の姿」「県民が求める高校のあり方」について県民等と共有するとと もに、その実現に向けた議論の機運を高めていく。
- (5) 令和7年度・令和8年度にかけて、附属機関「県立高等学校在り方検討委員会」での調査・審議を中心に、これからの本県高校教育のあり方の検討を行い、附属機関での答申内容を踏まえて、令和9年3月での県および県教育委員会としての考え方(新方針)の策定・公表に向けて取り組んでいく。

4 検討にあたって考えられる論点

- (1) 高校での学びの充実
 - ①各県立高校での学びの特色化、魅力化のさらなる推進
 - ②生徒の確保に向けた教育内容・人材育成カリキュラムのあり方
 - ③小規模校の特色化の推進
 - ④地域と連携した学びのあり方
 - ⑤これからの時代を見据えた産業教育、専門学科のあり方
 - ⑥多様なニーズに対応するための定時制高校、通信制高校のあり方
 - (7)生徒の特性に寄り添った多様な学びのあり方
 - ⑧中高一貫教育のあり方

など

(2) 高校のあり方

- ①高校の小規模化に伴う、生徒の進路選択、部活動や学校運営などへの影響なども見据えた、学校規模のあり方
- ②学びの内容に応じた学級定員設定のあり方
- ③私立高校の配置や学科設置状況も見据えた、県立高校の配置のあり方
- ④滋賀の高校で学びたい・学ばせたいと思われる魅力ある高校づくり
- ⑤地域・圏域内での各学校の役割のあり方
- ⑥本県高校教育における県立高校と私立高校の位置づけ
- ⑦地域振興・地域活性化の観点からの高校のあり方、コミュニティ・スクールの推進

など

- 5 検討の進め方、今後のスケジュール想定
- (1) 附属機関「県立高等学校在り方検討委員会」の設置 (令和7年度~令和8年度)
 - ・<u>教育委員会の諮問に応じて、県立高等学校の在り方に関する事項について調査審議</u>を 行う。(必要に応じて、部会を設けて検討を進めるとともに、オブザーバーや関係者か らの意見聴取を実施)
 - ①委員構成想定(20名以内) 学識経験者、保護者、教育機関関係者、産業関係者、公募委員
 - ②設置期間・開催回数(案) 令和7年度 第1回·第2回(11月~3月) 令和8年度 第3回~第6回(4月~2月)
- (2) 生徒・保護者等へのアンケートの実施(2回)(令和7年度~令和8年度) ・生徒・保護者等の考えや意見を伺い、論点の検討にあたって意見を反映していくため、 アンケートを実施
- (3) 県民フォーラム、地域ワークショップなどの県民との対話の機会の設定(令和 8 年度) ・広く県民のみなさんから滋賀の県立高校のあり方についてご意見を伺うとともに、県 民議論の喚起につなげる。
- (4) 附属機関「県産業教育審議会」の設置(令和8年度)
 - ・産業教育振興法(昭和 26 年法律第 228 号)第 11 条の規定に基づき設置する「滋賀県産業教育審議会」において、<u>産業教育に関する事項について調査審議</u>を行う。
- (5)関係団体等からのヒアリング、意見聴取の実施 (令和7年度~令和8年度) ・県立高校、市町、市町教育委員会、私立学校、PTA、大学、経済団体 など
- (6) 県民政策コメントの実施(令和8年12月)
 - ・広く県民のみなさんから高校のあり方についてご意見を伺い、論点の検討にあたって 意見を反映していくために実施。
- (7) 県議会(常任委員会)には、検討状況について適宜報告を行う。
- (8) 附属機関「県立高等学校在り方検討委員会」での答申を踏まえ、令和9年3月での県および県教育委員会としての考え方(新方針)の策定・公表を行う。

教育・子ども若者常任委員会資料4-2 令和7年(2025年)10月10日 高校教育課魅力ある高校づくり推進室

参考資料集

1	これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本的な考え方	•	•	•		1
2	これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する取組の方向性	•	•	•		4
3	各県立高校における魅力化の方向性	•	•	•		6
4	県内高等学校等配置図	•		•		7
5	市町別高等学校等配置状況	•	•	•		8
6	中学校および義務教育学校卒業(予定)者数の推移	•	•	•		9
7	中学校・義務教育学校から高等学校等への進学者の学校種類別内訳の推	移	•	•	1	2
8	高等学校(全日制)の地域別学校規模(生徒数)	•	•	•	1	4
9	高等学校(全日制)の学校規模(学級数)	•	•	•	1	5
1 0	県立高等学校(全日制)の第1学年募集定員による学級規模	•	•	•	1	6
1 1	県立高等学校(全日制)の第1学年募集定員による学級規模(地域別)	•	•	•	1	6
1 2	学級数 年次別推移	•	•	•	1	7
1.3	生徒数 年次別推移				1	8

1 これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本的な考え方

(これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針(令和4年3月策定))

(1) 本県教育の基本理念

本県教育の基本目標は、平成31年(2019年)3月に策定された滋賀の教育大網において、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」と定められている。

また、サブテーマとして「人生 100 年を見据えた『共に生きる』滋賀の教育」を掲げ、 人生 100 年をより豊かに生きていくために、多様な人と交わりながら、生涯を通じて学 び、その学びの成果を地域に生かしていくことで、「人と人」、「人と地域」がともに連 携し、滋賀の教育の充実と地域の活性化が良い循環を生み出すことを目指すこととして いる。

(2) 育成すべき生徒像

10~15 年先を見据えて、新しい時代を切り拓く人づくりのための魅力ある高等学校づくりを検討するに当たり、県立高等学校で育成すべき生徒像を次のとおりとした。

「生きる力(自立する力、伝える力、協働する力、創造する力等)がある」

(3) 高等学校の役割

高等学校は、生徒の生きる力(自立する力、伝える力、協働する力、創造する力等) を様々な教育活動の中で育む場となる。

また、中学校における教育の基礎の上に、生徒一人ひとりがもっている好奇心や探究心を更に発展させる場であるとともに、「答えを見つける」教育から「課題を見つけて解決に向けて考え行動する」教育の場となることも求められる。

(4)魅力化の視点

多様な価値観が尊重される多様性のある社会や人口減少社会等への対応を踏まえて、 小中学校での学びを十分生かすとともに、高等学校卒業後の進路となる大学や社会、お よび県内に設置される高等専門学校等とのつながりを大切にしながら、I C T も活用し、 持続可能な形で魅力化を図る。

また、森・川・里・湖が水系でつながり、近江の心が根付いた「滋賀」ならではの学び、それぞれの県立高等学校でこその学びを地域とともに推進する。

(5)目指す姿

県立高等学校の目指す姿を次の8つに整理 (■高等学校別 ◇県域全体)

- ①生徒が自ら主体的に学び「生きる力」をつけることができる
 - ◇全ての生徒に自分を高める学びが提供されている
 - ◇多様な人との出会いやコミュニケーションを通じて深め発見できる学びが提供されている
- ②生徒が多様性を尊重し世界につながり活躍するための力をつけることができる
 - ■グローバル人材や科学技術人材が育成されている
 - ■大学等と連携した高度な専門的学びが提供されている
 - ◇ICTを活用した対話的・協働的な学びが実現できている
- ③生徒同士が切磋琢磨し成長できる
 - ■学校行事や生徒会活動、部活動が活性化している
 - ◇学校でこそ育まれる人と人とのつながりを意識した場が提供されている
- ④場所や時間を選ばない学びができる
 - ◇ICTや外部人材を活用し、所属する学校の枠にとらわれない柔軟で多様な 学びが提供されている
- ⑤ 生徒が社会から学び自らの進路を考えることができる
 - ■地域の教育資源や人々と関わる学びが提供されている
 - ■産業界と連携した学びが提供されている
- ⑥障害のある生徒とない生徒が互いに学び合い互いを尊重できる
 - ◇共生社会の実現に向けた教育が着実に進んでいる
 - ◇障害のある生徒に対して必要な支援が提供されている
- ⑦生徒が自らに合った学びを選択できる
 - ■それぞれの県立高等学校ならではの魅力や特色が人々に理解されている
 - ■基礎学力充実、不登校、日本語学習等に対応する学びが提供されている
 - ◇県内どの地域でも様々な学びが提供されている
 - ◇経済的に不利な環境にある生徒への支援が充実している
 - ◇男女の人権や性の多様性が尊重される学校づくりが進んでいる
- ⑧教職員が生徒一人ひとりに愛情をもって向き合いサポートできている
 - ◇授業改善が進むとともに教職員自身の人間性や創造性を高め効果的な教育活動ができている

これからの滋賀の県立高等学校が目指す姿を実現するため、「<u>多様な生徒一人ひとりが、『滋賀』という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進める</u>」をコンセプトとする。

1「滋賀」に学ぶとして、滋賀の自然、歴史、文化、人、産業等を教育資源とした 学びを充実させ、2「滋賀」で学ぶとして、滋賀の県立高等学校の魅力と活力ある取 組を明確にし、見える化する学校づくりを進めるとともに、これらを支える環境整備 を行い、オンリーワンの学校づくりに取り組み、魅力を発信していく。

滋賀の県立高等学校づくりのコンセプト

多様な生徒一人ひとりが、「滋賀」という地域から学び、 社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進める

1 「滋賀」に学ぶ

滋賀の自然、歴史、文化、 人、産業等を教育資源と した学びの充実

- ◎知識・技能を活用し課題を解 決する確かな学力の育成
- ◎自立した社会人を育てるキャリア教育の充実
- ◎生徒の学ぶ意欲を育むための 多様な学習ニーズ等への対応

1 と2 を支える環境整備

- ◎多様な学びの提供や人と人の つながりの創出等、生徒数減 少への対応
- ◎多様な学びを実現する<u>ICT</u> を活用した教育の提供
- ◎生徒の学びを支援し、自ら学 び続ける教職員の育成
- ◎持続可能な推進体制の構築

2 「滋賀」で学ぶ

魅力と活力ある取組を明確にし、 見える化する学校づくり

◎普通科の特色化(全県一区制度継続)(普通科系専門学科を含む)



◎職業系専門学科等の特色化・高度化



○定時制/通信制の役割への対応

オンリーワンの学校づくり → 魅力発信

2 これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する取組の方向性

(これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針(令和4年3月策定))

- (1)確かな学力の育成
 - ①「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善
 - ②「読み解く力」をもとにした探究的に学ぶ力の育成
- (2) キャリア教育の充実
 - ①小中学校と高等学校、大学等の連続性を踏まえたキャリア教育の推進

(タテの連携)

- ②地元企業などの地域の教育資源を活用したキャリア教育の推進(ヨコの連携)
- (3) 多様な学習ニーズ等への対応
 - ①特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実
 - ②日本語指導が必要な生徒等への支援の充実
 - ③不登校生徒への支援の充実
 - ④基礎学力充実のための取組の工夫
 - ⑤経済的に不利な環境にある生徒への支援の充実
 - ⑥男女の人権や性の多様性が尊重される教育の推進
- (4) 普通科の特色化(普通科系専門学科を含む)
 - ①普通科の学科改編やコース、類型の設置
 - ②グローバル人材、科学技術人材の育成
 - ③普通科系専門学科(音楽・美術等)の学びを継続するための工夫
 - ④高等学校の特色のPR
- (5) 職業系専門学科・総合学科の特色化・高度化
 - ①Societv5.0 社会に対応した人材育成
 - ②地域や産業界と連携した産業教育
 - ③産業教育の推進にかかる環境整備
 - ④職業系学科の魅力を伝える方策
- (6) 定時制・通信制の役割への対応
 - ①多様な生徒の進路保障等を見据えた学びの場の提供
- (7) 生徒数減少への対応
 - ①これまで以上に地域と連携・協働した学校づくりの推進
 - ②多様な学びを実現するための少人数学級の工夫
 - ③市町のまちづくりと連携した特徴的な学科等の設置や磨き上げ
 - ④普通科の学科改編やコース、類型の設置
 - ⑤学校行事、部活動等の学校間連携や地域連携についての研究

- (8) ICTの活用
 - ①全ての県立高等学校での I C T環境の充実・更新
 - ②ICT活用のコンテンツ等の共有化
 - ③教職員のICTを活用するための研修等の充実
- (9) 生徒の学びを支援し、自ら学び続ける教職員の育成
 - ①優秀で意欲のある人材の確保
 - ②研修の充実
- (10) 持続可能な推進体制の構築
 - ①地域と連携・協働した学校づくりの推進
 - ②働き方改革の推進
 - ③経営方針の明確化

各県立高校における魅力化の方向性

	大津地域	南部地域	甲賀地域	東近江地域	湖東地域	湖北地域	高島地域
地域連携重点	堅田 大津 瀬田工業 大津商業	湖南農業守山北	石部 甲西 水口 信楽	八幡 八幡工業 八幡商業 八日市 八日市南 日野	彦根工業 愛知	伊吹 長浜北 伊香 長浜農業	高島 安曇川
多様な学び重点	北大津 【大津清陵 (昼・夜・通)】 【瀬田工業】	草津 栗東 守山北 野洲	石部 甲南 信楽	八幡 能登川 【能登川(昼・夜)】	彦根翔西館 愛知 【彦根工業】	伊吹 伊香 【長浜北星】	安曇川
高大連携重点	膳所 東大津 大津 石山	玉川 草津東 守山	甲西 水口 水口東	八日市	彦根東 河瀬	米原 長浜北 虎姫	高島
産業教育重点	瀬田工業 大津商業 【瀬田工業】	湖南農業 国際情報	甲南 信楽	八幡工業 八幡商業 八日市南 日野	彦根工業 彦根翔西館 【彦根工業】	長浜農業 長浜北星 【長浜北星】	安曇川
生活・ スポーツ・ 芸術系重点	北大津 大津 石山	草津東 栗東 野洲	石部 水口	日野	彦根翔西館 愛知	伊吹 伊香 長浜北星	安曇川

※【】は定時制・通信制

県内高等学校等配置図 (令和7年度) 4 至敦賀(福井) 湖北 近江塩津 ●●伊香 高島 JR(北陸線) ●虎姫 ■□長浜北星 長浜 ●長浜北 近江今津 ECC学園◎ 至大垣(岐阜) 柏原 安曇川 ■安曇川 JR(湖西線) ●■米原 彦根東● 彦根 上上彦根総合 ■彦根翔西館 JR(琵琶湖線) 河瀬●■□彦根工業 湖東 〇能登川 大津 南部 ●■近江兄弟社 八幡商業■ 八幡● 近江 堅田 八日市 幸福の科学学園関西 八日市 司学館◇■八日市南 ●●守山北 東近江 立命館守山С●守 私鉄(近江鉄道) 草津● 比叡山〇 ○○□◇綾羽 草津東●■ 大津商業■ ●■栗東 ■国際情報 □◇光泉カトリック●石部●甲西 ■日野 滋賀短期大学附属● 至京都• 膳所●■ ■□瀬田工業 ●東大津 貴生川●水口 大津清陵○◇ **→** JR(草津線) 甲南■ (MIHO美学院●) 信楽■ 信楽 油日 甲賀 私鉄 (信楽高原鉄道) 至柘植(三重)

全日制 ●普通科 ■専門学科・総合学科 定時制 ○普通科 □専門学科・総合学科 通信制 ◇普通科 ◎専門学科・総合学科

JR

私鉄

5 市町別高等学校等配置状況 (令和7年度)

(校)

市町	県	.立高等学	校	私	立高等学	校	中等教	計
	全日制	定時制	通信制	全日制	定時制	通信制	育学校	
大津市	8	1		3				12
		分校 1						分校 1
		(1)	(1)					
彦根市	4			2				6
		(1)						
長浜市	5							5
		(1)						
近江八幡市	3			1				4
草津市	4			2				6
					(1)	(1)		
守山市	2			1				3
栗東市	2							2
甲賀市	4						1	5
野洲市	1							1
湖南市	2							2
高島市	2					1		3
東近江市	3			1		1		5
		(1)						
米原市	2							2
日野町	1							1
竜王町								0
愛荘町	1							1
豊郷町								0
甲良町								0
多賀町								0
小計	44	1		10		2	1	58
		分校 1						分校 1
		(4)	(1)		(1)	(1)		

()内は全日制または定時制との併設校

6 中学校および義務教育学校卒業(予定)者数の推移 (全県)

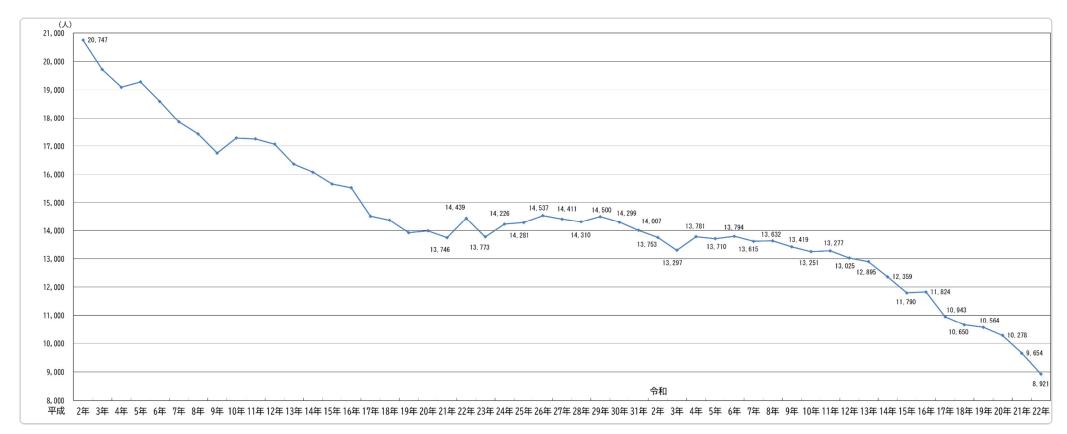
卒業年	R4.3	R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3	R16.3
	2022年	2023年	2024 年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
R7 時点学年					中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
全県計	13, 781	13,710	13, 794	13,615	13,632	13,419	13, 251	13, 277	13,025	12,895	12,359	11,790	11,824
(増減)		▲ 71	+84	▲ 179	+17	▲ 213	▲ 168	+26	▲ 252	▲ 130	▲ 536	▲ 569	+34
大津地域	3, 226	3, 229	3, 171	3, 179	3, 109	3,068	3,017	3, 161	3,093	3, 163	3,030	2,908	2,911
南部地域	3,645	3,624	3,701	3,629	3,674	3,681	3,602	3,553	3,525	3,515	3,383	3,235	3, 294
甲賀地域	1,349	1,335	1,392	1,325	1,287	1,293	1,335	1,248	1,236	1,224	1,191	1,090	1, 124
東近江地域	2,208	2, 237	2, 237	2, 199	2, 198	2, 177	2, 160	2,110	2,094	2,052	1,883	1,775	1,821
湖東地域	1,497	1,515	1,542	1,509	1,584	1,472	1,510	1,479	1,426	1,382	1,342	1,291	1,202
湖北地域	1,491	1,416	1,401	1,391	1,394	1,393	1,321	1,402	1,330	1,281	1,219	1,209	1,154
高島地域	365	354	350	383	386	335	306	324	321	278	311	282	318

卒業年	R17.3	R18.3	R19.3	R20.3	R21.3	R22.3
	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年
R7 時点年齢	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
全県計	10,943	10,650	10,564	10,278	9,654	8,921
(増減)	▲ 881	▲ 293	▲ 86	▲ 286	▲ 624	▲ 733

大津地域	2,673	2,575	2,584	2,519	2,440	2, 175
南部地域	3, 189	3,067	3,067	3,053	2,805	2,699
甲賀地域	988	1,012	940	929	870	766
東近江地域	1,657	1,700	1,692	1,563	1,509	1,396
湖東地域	1,129	992	1,051	1,009	924	884
湖北地域	1,041	1,045	971	975	883	790
高島地域	266	259	259	230	223	211

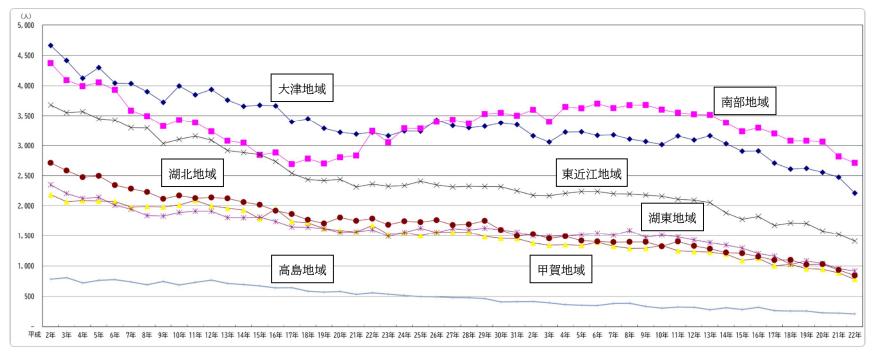
- ※ 令和7年~令和16年は、令和7年5月1日の学校基本調査による現員
- ※ 令和17年以降は、令和7年4月の人口推計調査(統計課)による推計人口

中学校および義務教育学校卒業(予定)者数の推移 (全県)



- ※ 令和7年~令和16年は、令和7年5月1日の学校基本調査による現員
- ※ 令和17年以降は、令和7年4月の人口推計調査(統計課)による推計人口

中学校および義務教育学校卒業(予定)者数の推移 (地域別)



令和7年度卒業者数を100としたときの割合

	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3	R16.3	R17.3	R18.3	R19.3	R20.3	R21.3	R22.3
大津地域	100.0	97.8	96.5	94.9	99.4	97.3	99.5	95.3	91.5	91.6	84.1	81.0	81.3	79.2	76.8	68.4
南部地域	100.0	101.2	101.4	99.3	97.9	97.1	96.9	93.2	89.1	90.8	87.9	84.5	84.5	84.1	77.3	74.4
甲賀地域	100.0	97.1	97.6	100.8	94.2	93.3	92.4	89.9	82.3	84.8	74.6	76.4	70.9	70.1	65.7	57.8
東近江地域	100.0	100.0	99.0	98.2	96.0	95.2	93.3	85.6	80.7	82.8	75.4	77.3	76.9	71.1	68.6	63.5
湖東地域	100.0	105.0	97.5	100.1	98.0	94.5	91.6	88.9	85.6	79.7	74.8	65.7	69.6	66.9	61.2	58.6
湖北地域	100.0	100.2	100.1	95.0	100.8	95.6	92.1	87.6	86.9	83.0	74.8	75. 1	69.8	70.1	63.5	56.8
高島地域	100.0	100.8	87.5	79.9	84.6	83.8	72.6	81.2	73.6	83.0	69.5	67.6	67.6	60.1	58.2	55. 1
計	100.0	100.1	98.6	97.3	97.5	95.7	94.7	90.8	86.6	86.8	80.4	78.2	77.6	75.5	70.9	65.5

7 中学校・義務教育学校から高等学校等への進学者の学校種類別内訳の推移

ħ.	交種		H 2	8	H 2	9	Н3	0	Н3	1	R	2	R 3	3
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
進	学者総数		14, 163	100.0	14, 370	100.0	14, 168	100.0	13,902	100.0	13,633	100.0	13, 191	100.0
	全日制	県立	10,280	72.6	10,361	72.1	10, 135	71.5	9,877	71.0	9,486	69.6	9,075	68.8
県		私立	2, 291	16.2	2,441	17.0	2,447	17.3	2, 264	16.3	2,416	17.7	2,417	18.3
内	定時制	県立	221	1.6	177	1.2	164	1.2	167	1.2	157	1.2	122	0.9
		私立	128	0.9	120	0.8	138	1.0	123	0.9	106	0.8	88	0.7
	通信制	県立	33	0.2	48	0.3	43	0.3	63	0.5	59	0.4	43	0.3
		私立	85	0.6	85	0.6	90	0.6	101	0.7	89	0.7	94	0.7
	特別支援	受学校	161	1.1	168	1.2	135	1.0	150	1.1	150	1.1	182	1.4
	計	<u> </u>	13, 199	93.2	13,400	93.2	13, 152	92.8	12,745	91.7	12, 463	91.4	12,021	91.1
		県立	10,534	74.4	10,586	73.7	10, 342	73.0	10, 107	72.7	9,702	71.2	9, 240	70.0
		私立	2,504	17.7	2,646	18.4	2,675	18.9	2,488	17.9	2,611	19.2	2,599	19.7
		国立	5	0.0	5	0.0	7	0.0	4	0.0	2	0.0	6	0.0
県	全日制	公立	46	0.3	51	0.4	51	0.4	66	0.5	63	0.5	59	0.4
外		私立	700	4.9	704	4.9	744	5.3	808	5.8	812	6.0	766	5.8
	定時制		8	0.1	3	0.0	1	0.0	6	0.0	2	0.0	5	0.0
	通信制		133	0.9	148	1.0	145	1.0	214	1.5	229	1.7	259	2.0
	高等専門	学校	72	0.5	58	0.4	66	0.5	59	0.4	61	0.4	74	0.6
	特別支援	受学校			1	0.0	2	0.0			1	0.0	1	0.0
	計	<u> </u>	964	6.8	970	6.8	1,016	7.2	1, 157	8.3	1,170	8.6	1,170	8.9
全日	日制高校	計	13, 322	94.1	13,562	94.4	13, 384	94.5	13,019	93.6	12,779	93.7	12, 323	93.4
定師	詩制高校	計	357	2.5	300	2.1	303	2.1	296	2.1	265	1.9	215	1.6
通信	言制高校	計	251	1.8	281	2.0	278	2.0	378	2.7	377	2.8	396	3.0
高等	等専門学校	注 計	72	0.5	58	0.4	66	0.5	59	0.4	61	0.4	74	0.6
特別	川支援学校	き計	161	1.1	169	1.2	137	1.0	150	1.1	151	1.1	183	1.4

朴	交種		R 4		R 5	5	R 6	3	R 7		
			人	%	人	%	人	%	人	%	
進生	学者総数		13,656	100.0	13,581	100.0	13,655	100.0	13,467	100.0	
	全日制	県立	9,385	68.7	9, 264	68.2	9, 279	68.0	9,061	67.3	
県		私立	2,436	17.8	2,366	17.4	2,410	17.6	2,374	17.6	
内	定時制	県立	132	1.0	157	1.2	144	1.1	124	0.9	
		私立	62	0.5	60	0.4	61	0.4	78	0.6	
	通信制	県立	79	0.6	80	0.6	79	0.6	78	0.6	
		私立	113	0.8	139	1.0	145	1.1	172	1.3	
	特別支援	受学校	216	1.6	172	1.3	183	1.3	204	1.5	
	計	+	12,423	91.0	12, 238	90.1	12,301	90.1	12,091	89.8	
		県立	9,596	70.3	9,501	70.0	9,502	69.6	9,263	68.8	
		私立	2,611	19.1	2,565	18.9	2,616	19.2	2,624	19.5	
		国立	6	0.0	4	0.0	1	0.0	4	0.0	
県	全日制	公立	66	0.5	60	0.4	72	0.5	74	0.5	
外		私立	782	5.7	839	6.2	789	5.8	814	6.0	
	定時制		1	0.0	4	0.0	8	0.1	7	0.1	
	通信制		312	2.3	358	2.6	396	2.9	397	2.9	
	高等専門	門学校	66	0.5	77	0.6	87	0.6	79	0.6	
	特別支援	受学校			1	0.0	1	0.0	1	0.0	
	計	†	1,233	9.0	1,343	9.9	1,354	9.9	1,376	10.2	
全日	日制高校	計	12,675	92.8	12,533	92.3	12,551	91.9	12, 327	91.5	
定即	寺制高校	計	195	1.4	221	1.6	213	1.6	209	1.6	
通信	言制高校	計	504	3.7	577	4.2	620	4.5	647	4.8	
高等	等専門学校	文 計	66	0.5	77	0.6	87	0.6	79	0.6	
特別	川支援学校	文 計	216	1.6	173	1.3	184	1.3	205	1.5	

8 高等学校(全日制)の地域別学校規模(生徒数) (令和7年度)

H- 公士 米h		大津地	域		南部	地域	甲	賀地域		東近江均	也域		湖東地域		湖	北地域	高	島地域	十六米十
生徒数	校数	Ŕ	交名	校数		校名	校数	校名	校数	ħ.	交名	校数	校名	3	校数	校名	校数	校名	校数
1,000人以上	4	膳所 石山 東大津	比叡山	3	草津東	光泉カトリック 立命館守山			1		近江兄弟社								8校
900人以上 ~1,000人未満	1	大津		1	玉川				1	八幡		2	彦根東 彦根翔西館						5校
800人以上 ~900人未満	1	大津商業		1	守山				1	八日市									3校
700人以上 ~800人未満	2	瀬田工業	滋賀短期 大学附属	2	草津 国際情報				1	八幡商業		1		近江					6校
600人以上 ~700人未満	1	堅田					1	甲西				2	彦根工業	彦根総合	2	長浜北 米原			6校
500人以上 ~600人未満				1	栗東		2	水口 水口東	2	八幡工業	滋賀学園	1	河瀬		2	虎姫 長浜北星	1	高島	9校
400人以上 ~500人未満				2	湖南農業	綾羽			1	日野									3校
300人以上 ~400人未満				2	守山北 野洲		2	甲南 石部	2	能登川 八日市南					2	伊吹 長浜農業			8校
200人以上 ~300人未満	1	北大津										1	愛知	_	1	伊香	1	安曇川	4校
100人以上 ~200人未満	1		幸福の科学 学園関西				1	信楽											2校
合計		11			1	2		6		9			7			7		2	54

9 高等学校(全日制)の学校規模(学級数) (令和7年度)

学級数	県立高等学校		私立高等学校		学校数
	学校名	学校数	学校名	学校数	計
30 学級以上			比叡山	2校	2校
			近江兄弟社		
27~29 学級	膳所、石山、草津東	3校	光泉カトリック	2校	5校
			立命館守山		
24~26 学級	東大津、大津、彦根東、 彦根翔西館、玉川	5校	近江	1校	6校
21~23 学級	瀬田工業、大津商業、 八幡、守山、八日市	5校	滋賀短期大学附属	1校	6校
18~20 学級	堅田、彦根工業、長浜北、 八幡商業、草津、 国際情報、米原	7校	彦根総合 滋賀学園	2校	9校
15~17 学級	河瀬、虎姫、長浜北星、 八幡工業、栗東、水口、 水口東、甲西、高島	9校			9校
12~14 学級	湖南農業、守山北、野洲、 日野	4校	綾羽	1校	5校
9~11学級	北大津、伊香、長浜農業、 甲南、石部、安曇川、 八日市南、能登川、伊吹、 愛知	10 校	幸福の科学学園関西	1校	11校
6~8学級	信楽	1校			1校
5学級以下					
計		44 校		10 校	54 校

10 県立高等学校(全日制)の第1学年募集定員による学級規模 (令和7年度)

学級数	学校名	学校数
9学級	膳所、石山、草津東	3校
8学級	東大津、大津、玉川、彦根東、彦根翔西館、	5校
7学級	瀬田工業、大津商業、守山、八幡、八日市、	5校
6学級	堅田、草津、国際情報、彦根工業、八幡商業、長浜北、	7校
	米原	
5学級	栗東、水口、水口東、甲西、河瀬、八幡工業、虎姫、長	9校
	浜北星、高島	
4学級	守山北、野洲、湖南農業、日野	4校
3学級	北大津、甲南、石部、能登川、愛知、八日市南、伊香、	10 校
	伊吹、長浜農業、安曇川	
2学級	信楽	1校
	計	44 校

11 県立高等学校(全日制)の第1学年募集定員による学級規模(地域別)

【令和7年度】

学級数	校数	大	津地域	南	部地域	甲貨	[地域	東近	江地域	浩	東地域	湖	北地域	高島	地域
于拟效	化文文义	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名
11															
10															
9	3	2	膳所 石山	1	草津東										
8	5	2	東大津 大津	1	玉川					2	彦根東 彦根翔西館				
7	5	2	瀬田工業 大津商業	1	守山			2	八幡 八日市						
6	7	1	堅田	2	草津 国際情報			1	八幡商業	1	彦根工業	2	長浜北 米原		
5	9			1	栗東	3	水口 水口東 甲西	1	八幡工業	1	河瀬	2	虎姫 長浜北星	1	高島
4	4			3	守山北 野洲 湖南農業			1	日野						
3	10	1	北大津			2	甲南 石部		能登川 八日市南	1	愛知	3	伊吹 伊香 長浜農業	1	安曇川
2	1					1	信楽								
合計	44		8 9		9	6		7		5		7		2	
平均学級数	5.4		7.1	5.9		3	. 8		5.0		6.0	4.4		4.0	

12 学級数 年次別推移

(学級)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
県立	全日制	926	906	875	848	814	802	785	789	781	786	781	794
高等学校	定時制	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
市立	全日制	15	15	15									
高等学校													
私立	全日制	154	157	160	174	178	184	194	200	204	206	213	217
高等学校	定時制	15	15	15	15	15	14	13	12	12	14	14	14

		H27	H28	H29	Н30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県立	全日制	794	791	787	782	773	755	729	720	716	724	720
高等学校	定時制	32	32	32		32	31	31	31	31	31	31
私立	全日制	223	225	227	232	228	235	236	244	228	237	235
高等学校	定時制	12	12	12	13	13	12	10	8	8	7	6

13

生徒数	年次別推移		人)
-----	-------	--	----

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
県立	全日制	35,636	35,008	33,707	32,726	31,484	31,110	30,519	30,755	30,434	30,559	30, 265	30,695
高等学校	定時制	714	658	691	733	732	783	817	867	836	833	817	807
	通信制	1,134	1,120	1,199	1,227	1,169	1,186	1,170	1,158	1,100	1,028	958	906
市立	全日制	587	574	566									
私立	全日制	5, 156	5, 156	5, 211	5,827	5,870	5, 987	6,276	6,599	6,869	7,073	7,300	7,542
高等学校	定時制	601	607	607	606	590	551	514	485	467	489	456	466
	通信制	659	696	654	655	631	723	669	625	652	663	654	657
	全日制	41,379	40,738	39, 484	38,553	37, 354	37,097	36,795	37, 354	37,303	37,632	37,565	38, 237
計	定時制	1,315	1,265	1,298	1,339	1,322	1,334	1,331	1,352	1,303	1,322	1,273	1,273
	通信制	1,793	1,816	1,853	1,882	1,800	1,909	1,839	1,783	1,752	1,691	1,612	1,563

		H27	Н28	H29	Н30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県立	全日制	30,878	30,890	30,761	30,396	29,886	29,013	27,947	27,432	27, 158	27, 256	26,865
高等学校	定時制	837	873	809	749	701	673	616	570	566	552	506
	通信制	839	737	685	647	654	666	631	629	719	740	775
私立	全日制	7,581	7,486	7,673	7,888	7,787	7,779	7,762	7,940	7,909	7,891	7,817
高等学校	定時制	459	469	438	440	418	403	348	280	235	197	213
	通信制	699	682	716	678	694	682	711	746	819	933	1,110
	全日制	38, 459	38, 376	38, 434	38, 284	37,673	36,792	35,709	35, 371	35,067	35, 147	34,682
計	定時制	1,296	1,342	1,247	1,189	1,119	1,076	964	850	801	749	719
	通信制	1,538	1,419	1,401	1,325	1,348	1,348	1,342	1,375	1,538	1,673	1,885